

2020.05.22

## 【米国】各州、接触追跡アプリの開発で苦闘続く

現在米国では、ノースダコタ州、ユタ州、ジョージア州など6州ほどが新型コロナウイルスの感染状況を把握するためのアプリを独自開発した。しかし、技術的な問題やデータ入手の困難さなどのために開発はなかなか進んでいない。他のほとんどの州は、アップルとグーグルが共同開発するBluetoothベースの技術がリリースされるのを待っている状態である。ただし、両社の技術がプライバシー保護に配慮した結果、接触追跡に必要な情報を得られないのではないかと懸念する声も出ている。さらに、州の接触追跡アプリが、感染状況を正確に把握できるほどの利用者を集められるのかどうかも疑問視される。ワシントンポストとメリーランド大学が共同で実施したアンケート調査では、米国民の60%近くがアップルとグーグルの共同開発するシステムを使うつもりはないと回答しており、公衆衛生関係者等は、各州が異なるアプローチを取っているとはいえ、どの州においても十分な数の利用者を確保することが大きな課題になると見ている。